うさぎだより

2018年10月号
うさぎぶんこ

10月

秋本番になりました。
土の中のおいもさんも大きくなっているかな。
収穫が楽しみな季節になりましたね。

9月は台風続きで不安な日を過ごすことが多かったですね。皆さんのお宅は大丈夫でしたか。もう一度防災を考える機会になりました。

〈9月の出張おはなし会　新学期から元気に出かけてマース!〉

▼9/5(水) かにがさか保育園

和坂に昨年の12月に開園した「かにがさか保育園」。初めて呼んでいただきました。
住宅の中の小さな保育園でしたが最新の設備で日のあたりの良い気持ちの良い園でした。子どもたちもニコニコ元気いっぱいの笑顔で楽しそうにおはなしを聞いてくれました。

▼9/12(水) 滝の茶屋保育園

山陽電車の滝の茶屋駅のすぐそばに建つ保育園です。とても見晴らしが良くて爽やかな風が入ってきます。
小さな赤ちゃんを両腕に抱っこしながら保育士さんたちも一緒におはなしを楽しんでくれます。久しぶりに「おはなクレヨン」のパネルシアターをしましたよ。みんなもクレヨンで朝ごはんの絵を書いてみてネ。

▼9/19(水) 王子子育て学習室

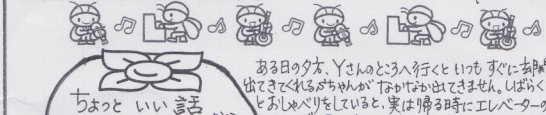
ニコニコ顔で迎えてくれる優しい用務員のお兄さんがいます。子どもたちも用務員さんと仲良。明るいやりとりを感じて、おはなし会の準備をしながらほっこり。就園前の子育て学習室の親子と、王子幼稚園の子どもたちとにぎやかにおはなしを楽しみました。子育ての親子に癒されながら、とてもお行儀よくおはなしを聞いていました。ステキなお兄ちゃん、お姉ちゃんになったね。

▼9/26(水) たけの子ども園

いい木の香りのする大保育室。準備していると子どもたちが嬉しそうに声をかけてくれます。2階から1階にいる園長先生にも気軽に声をかけてあいさつ。明るい保育の様子が伺えます。
くだものさんたちには大興奮!!
3校のお子さ、ではじっり聞けました。

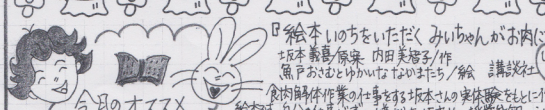
黄金色に輝く稲穂たち。頭を垂れて考える人みたい。じっくり考える秋。

夏のおたのしみ会の報告のあとは、もう冬のおたのしみ会のお知らせです。
新作の作品も決まり、いよいよ製作作業も始まりました。
今までにない色使いとちょっとシュールな内容の絵本を選びました。
ぜひお父さんにも読んでほしい一冊です。



ある日の夕方、Yさんのところへ行くといつもすぐに玄関まで出てきてくれるSちゃんがなかなか出てきません。しばらくお母さんとおしゃべりをしていると、実は帰る時にエレベーターのボタンが押せず帰ってきてからずっとすねているとのこと。子どもの「あるある」ですよね。そこで提案。今から文庫のメンバーの井上さんのお宅に届けものがあるので、Sちゃんも一緒に行かない？そして帰りにエレベーターに乗って帰ってこようと誘いました。さてさて、探検隊の出発です。

まずは井上さんの家を目指し、ピンポン！急な訪問でしたが Sちゃんを見て井上さんはニコニコ。お届けものを渡すと、そのお礼にと、栗ごはんができる生のむき栗をいただきました。ワーイ！やったね!!とSちゃんは喜び、次は藤本さんのところへ行ってみよう。でも藤本さんにはお届けものはないので家の前まで行って表札の「ふじもとさん」を読んだだけでおしまい。
次はいよいよエレベーターです。エレベーターのボタンはお約束通りSちゃんに押してもらいました。そして今度は谷川さんの家の前まで行きました。ここも「たにかわさん」と表札を読んだだけね。
シャイなSちゃんはなかなかおしゃべりをしてくれませんが、その日のお昼ごはんはハンバーグだったって話してくれました。そしてSちゃんの家に到着。探検隊終了です。
次の日の朝、早速栗ごはんを炒いてもらって、Sちゃんはモリモリ食べて保育園に行ったんですって。
子どもって、ちょっとしたことで悲しくなったり不機嫌になったり。子どもにとったちょっとした出来事ではないのでしょうけれど。毎日付き合うお母さんは本当に大変です。ガンバレお母さん!!
菊川はこの日たまたまSちゃんとファミール探検隊ができて楽しかったヨ♡



『絵本いのちをいただく みいちゃんがお肉になる日』
坂本義喜/原案　内田美智子/作
氣戸おさむとゆかいななかまたち/絵　講談社
じっくり読んでほしい

食肉解体作業の仕事をする坂本さんの実体験をもとに作られた絵本です。自分の仕事がずっと嫌だった坂本さん。授業参観より帰ってきた息子の言葉とみいちゃんという牛との出会いで自身の職業観や生命観が大きく変わります。命をいただくという重さや仕事の意味を考えさせられる感動の絵本。

うさぎだよりは「コープともしびボランティア振興財団」の助成を受けて印刷しています。

11月の閉室日…2・16(金)

ホームページアドレス　usagi-bunko.com
うさぎ文庫の電話番号 924-7234(菊川自宅 FAX共)